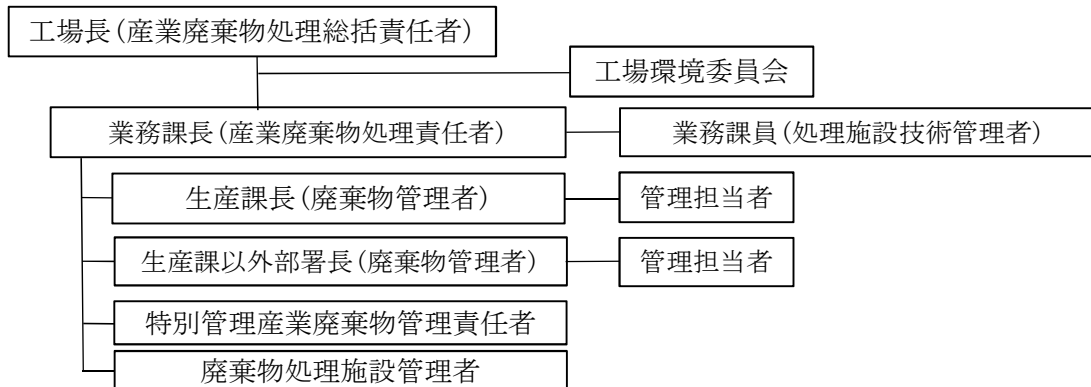


（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年5月7日	
名古屋市長 様	
提出者	
住 所	名古屋市港区汐止町12番地
氏 名	ニチハ株式会社
	名古屋工場長 大橋 章男
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	0 5 2 - 3 8 1 - 2 8 1 1
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ニチハ株式会社 名古屋工場
事業場の所在地	名古屋市港区汐止町12番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	製品出荷額：5,395,600（百万円）
③ 従業員数	417人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 → 再生処理業者に委託し焼却・焼成後セメント原料化 燃え殻 → 再生処理業者に委託し焼却・焼成後セメント原料化 ガラス及び陶磁器くず → 再生処理業者に委託し焼却・焼成後セメント原料化 → 埋立処理業者に委託し埋立処分 廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託し焼却処理後路盤材原料化 → 再生処理業者に委託し破碎後再資源化 木くず → 再生処理業者に委託し破碎後燃原料化

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙１のとおり
	排 出 量	
	(これまでに実施した取組) ・各製造ラインでの稼働安定化、ライン内回収率の向上 ・合格率向上による不良品及び廃棄原料の低減 ・品種切替時の効率化による廃棄原料の低減 ・廃棄原料の回収設備による回収量増加	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙２のとおり
	排 出 量	
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組の維持及び更なる効率向上	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別回収種類・場所の表示板設置による明確化、及び注意の促進 ・回収種の細分化を検討・実施し、再生利用の促進 ・分別、処理に関する社内教育による分別仕分け意識・精度の向上
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状取組の維持及び更なる分別により資源化の模索

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組)	
	—	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組)	
	—	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組) —	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋処分を行う産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組) —	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙１のとおり
	全 処 理 委 託 量	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
	(これまでに実施した取組)	
	・生産稼働効率化での廃棄物発生抑制、及び社内回収向上 ・分別細分での有価物化促進に伴う廃棄物量低減 ・発生源の特定、発生量の抑制対策による排出量低減化 ・処理委託業者への定期的な実地確認	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	全 処 理 委 託 量	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
(今後実施する予定の取組) ・現状の維持及び更なる促進		
※事務処理欄		

別紙1

【前年度(令和5年度)実績】

[illegible]

別紙2

【今年度(令和6年度)計画】

[illegible]